

第15回 特定非営利活動法人 野生動物救護の会 定期総会 議事録

- 1、日時 2022年6月25日(土) 13:30~14:50
- 2、会場 厚木市保健福祉センター 4F 研修室
- 3、出席者数 10名(総正会員数 60名) 委任状 37人
- 4、議題

- (1)2021 年度決算報告の及び会計監査報告の件
- (2)2021 年度事業報告の件
- (3)2022 年度事業予定の件
- (4)2022 年度活動予算の件

5、議事経過及び結果

定刻に至り、議長の安井氏が、本日の定期総会は定足数を満たし有効に成立している旨を述べて開会を宣言した。

(1) 2021 年度決算報告の及び会計監査報告の件

森氏により 2021 年度決算報告(資料:貸借対照表・収支計算書・財産目録)及び会計監査報告を行った。

問1 消耗品 1.2 の違いは何か?

回答 消耗品 1 は通常の事務局の諸経費であり、消耗品 2 はセンターの依頼によりムササビ用のミルク代として使用された分(1回に 5000 円以上使用している)。

問2 通信費には切手代が含まれているのか

回答 含んでいる。

問3 未収入金とは何か

回答 もり・みず助成金が今期(2022 年度)に入ってから振り込みのため、2022 年 3 月 31 日時点での決算になるため、未収入金として計上している。

問4 赤字決算となっているが、今後の見通しはどうなっているのか。

回答 コロナ禍によりイベント等がないため、収入(寄付金や売り上げ)が減少している。救護の会として収入を増やす方向へ動かなければならない。助成金を受けて活動するために、目的を増やす、会員数を増やすなど行わなければならない。

問5 助成金を増やしても赤字が増えることにはならないか。

回答 助成金の内容にもよる。助成額と同額の救護の会の出費が必要なものから、助成金のみで成り立つものがあるため、そういった助成金を探していけばよいと考えられる。

以上の疑義照会のもの承認可決した。

(2) 2021 年度事業報告の件

渡辺氏より 2021 年度事業報告（資料：RUNNER Vol.37 p.8）を行った後、質問・意見を募ったが質問・意見がなかったため異議無く承認可決した。

(3) 2022 年度事業予定の件

問1 ボランティア講習会は開催できるのか

回答 現在コロナの感染状況をみて保全センターが検討中。

問2 探鳥会はいつ開催されるのか。具体的な方向性を示してもらいたい。

回答 秋以降に活動したいと検討している。

問3 探鳥会の講師を依頼した場合、講師費代を払っても可能か。

回答 スタッフだけでも可能なら、外部を依頼する必要はないのではないか。外部講師に依頼すれば、これまでとは異なるネットワークにつながって参加者が増える可能性がある。そこで救護の会の宣伝にも活用することが可能になるのであれば検討してもよいのではないかと。

問4 野生動物痕跡調査講習会は開催されるのか。

回答 これまで SNS での活動も行っていたが、今期の活動については不明。

問5 スキルアップ勉強会は続けるのか。

回答 コロナ禍の先行きが不明のため、一旦終了とする。

問6 展示企画は何を行うのか。

回答 9～10月に保全センターブナの森ギャラリーにて行うが、内容は未定。痕跡と巣箱以外で可能なものがないか検討中。

問7 主に市民を対象とした啓発の事業のうち、よこすか動物フェスティバルと動物フェスティバルかながわは同一イベントである。10月23日開催。

問 8 RUNNER は最低でも年 2 回は発行してほしい。

回答 内容が少なくても良いのであれば発行します。

問 9 図書館調査を来期末でまとめたい。

回答 最終的なデータのとりまとめを目指す。

問 10 羽根標本は現在活動しているか

回答 現状不明。

問 11 巣箱調査の現状はどうなっているか。

回答 現在この 2 年間繁殖に失敗している。テンが巣箱を覗くなどしてフクロウが営巣できないでいる。また、近くに養鶏場ができた影響があるかもしれない。

巣箱の位置を変更するなどしているが、繁殖には至っていない。

問 12 自然発見クラブの羽根標本づくりとは

回答 8 月 20 日に開催する。具体的にどう開催するのかは担当者がいないため不明。

問 13 自然発見クラブとはなにか

回答 保全センター主催の夏休み子ども体験教室のようなもの。申し込みの手続等は保全センターが行っている。

以上の疑義照会ののち承認可決した。

(4) 2022 年度活動予算の件

問 1 もりみずの助成金で交通費として支払った分から ¥136430 を寄付として受けとったので、消耗品 2 として活用したい。

回答 136430 円を寄付収入として計上し消耗品 2 が必要の時に使うことにする。

問 2 巣箱調査の経費は丹沢緑を育む集いの助成金で行えないか。

回答 検討します。

問 3 ほかに助成金はとれないのか

回答 サントリーの助成金は今年度ネコ絵本でとったので、2 年に 1 回のため、来年はとれない。ほかにもないか検討する。

以上の疑義照会ののち承認可決した。

(5) そのほかの質問・要望・意見

皆さんがすばらしい活躍をしているので安心している。今後もぜひ協力していきたい。

議長が以上を持って第 15 回定期総会において全ての議事を終了した旨を述べて閉会した

令和 4 年 6 月 25 日

特定非営利活動法人 野生動物救護の会

議長 安井啓子

書記 渡辺郁美